

259. 両鎖律ニツイテ

森 新治郎 (廣島文理大)

紙上談話會第三十八号ニ於テ秋月氏が regular + 環
デハ倍鎖律カラ 約鎖律が出テ來ルコトヲ示サレ更ニ最近日本
數學物理學會記事ニハノ詳細ナ證明ヲ發表サレマシタ。興味
深ク拝見シマシタノハ少シ氣付キマシタコトヲ簡單ニ述ベサ
セテ貰ヒマス。アノ定理ヲ多少拡張シマズレバ 次ノ定理ト
ナル様ニ思ハレマス。

定理. \mathcal{R} デハ倍鎖律 (beschränkt)) 成立スル
可換環トスレバ $(0):(r)$ デ最小ナシムルヤウナ元素ア
ガ \mathcal{R} ノ内ニ存在スル。此ニ於テ約鎖律が成立スルタメニ

必要充分条件ハ $(\alpha, R^2) | R^2$ が有限, Basis \Rightarrow 有スルコトデアル。(r が regular デアルナラバ $(\alpha, R^2) = R^2$ トナツテ秋月氏, 定理ヲ得ル)。

先づ $\alpha = (0) : (r)$ の最小ナラシムル元素 Y, 存在ヲ示す。

a). (0) が Primideal ナルトキ。任意ノ零デナイ元素 Y トスレバ $\alpha = (0) : (r) = (0)$ トナル。

b). (0) が Prim. デナイトキ。コノ場合, R , 構造ハヨク知ラレテ居テ $R = R^2 \cup R + R^2$, ニッ, 場合ガ考ヘラレル。第一, 場合ハ單位元素が存在シ, 第二, 場合ハ Total nullteiler が存在シ其ノ集合ハーツ, Ideal トナル。故ニ倍鎖律 (beschränkt) イヨツテ $\alpha = (0) : (r)$ の最小ナラシムル元素 Y ハ存在スルデアロウ。

必要 / 証明. (0) が Prim. デアレバ明カ $= (\alpha, R^2) = R^2$ 従ツテ $(\alpha, R^2) | R^2$ ハ有限ナル Basis テ持ツト考フベク, (0) が Prim. デナイトキハ

$$R = R_1 + R_2$$

トナル。コニ $= R_2$ ハ (0) も又ハ單位元素 Y 有スル環デアリ R_1 \wedge nilpotent + 環デアル。 R_2 = 約鎖律が成立スルカ $\Rightarrow R_2 | R^2 = R_1 | R_2^2 =$ 又約鎖律が成立スル。ヨツテ $(\alpha, R^2) | R^2$ ハ有限, Basis テ持タネバナラズ。

充分 / 証明. (0) が Prim., トキハ $(\alpha, R^2) = R^2$ 。ソシテ $R = R^2$ デアレバ R = 於テ約鎖律, 成立ハ明カデ

アル。又 $\alpha \neq \alpha^2$ ナレバ $\alpha \neq \alpha^2$ 外，元素トスル。

倍鎖律，假定カラ $mr = rr'$ (m : 自然数, r' : R ，元素)

トスル。従ツテ R^2 外，任意，元素 $x =$ 對シテ $mx = xr' \equiv 0(R^2)$ が成立スル。

(0) が prim. ナレバ $R = R^2 +$ レバ R ハ單位元素ヲ有シ，約鎖律，成立ハ明カデアル。 $\alpha \neq R^2 +$ ルトキハ

$R = R_1 + R_2$ ($R_2^2 = R_2$, $R_1 \neq (0)$, $R_1^k = (0)$)
トスル。 $R_1^2 = (0)$ ナレバ $\alpha = R_1$ 従ツテ $(\alpha, R^2) / R^2 = R$ ，
依ツテ $R =$ ハ約鎖律が成立スル。

$R^2 \neq (0)$ デアルナラバ $\alpha = (0) : \gamma$ ハ最小ナシム
ル γ ハ $\gamma = \gamma_1 + \gamma_2$ ($\gamma_1 \neq 0$) (γ_1, γ_2 ハ夫々 R_1, R_2) 元
素) トスル。ソシテ $R \cong (\alpha, R^2) \subset R^2 + (0)$ デアルカラ
 $mr = r\gamma'$ (m : 自然数, γ' : R ，元素)

ヲ得ル。今 (α, R^2) 外，任意，元素 x トスレバ

$$r(mx - r'x) = 0, \quad mx - r'x \equiv 0(\alpha),$$

$$mx \equiv 0((\alpha, R^2)).$$

従ツテ $R =$ 於テ又約鎖律が成立スル。即チ定理ハ証明サ
レタ。

約鎖律ヲ假定シテ環，構造カラ知ラレルコトデハアルが
次，様ナ定理モ成立スル。

定理. R ハ約鎖律が満足サレル $R^2 \neq (0) +$ ル可換環
トスル。 $R =$ 倍鎖律 (Beschränkt) が成立ハルタメ=

必要充分条件八

I $R = \text{Primideal } (\neq (0))$ がアルナラバ全部最大
Ideal デアリ,

II $R|R^2$ が有限個ノ元素ヲ有スルコトデアリ。

梗概ヲ述べマシタダケデ不充分ナ点モアリ改メル可キ所モア
リマセウガ思ヒ浮ンダヌヲ述べマシタ。